

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月 日			
平成15年度	事業コード	32630	電話	042 - 769 - 8270
担当部課名	土木部	下水道管理	課	施設 班
事務事業名	公共下水道維持補修費 下水道管理課分			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 2 章	質の高い都市基盤の整備をすすめます。	事業開始年度
基本施策名	第 6 節	下水道の整備と管理	63以前 年度
施策名	第 3 施策	下水道管理の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

下水道法第3条（管理）

3 事務の区分

自治事務	4 経費の区分	5 事務事業の分類	6 受益者負担
	その他の経費	市単独事業	なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
下水道施設の点検、調査を計画的に行い、異常を速やかに発見し維持補修する。予防的な維持補修を行い、施設の機能を確保し、その使用期間の延命を図る。	予 公共下水道整備済区域 対象数 243,400世帯
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
公共下水道維持補修費 92,838,370円 ・流量計修繕 2,659,650円 ・人孔修繕 40,893,177円 ・マンホールポンプ修繕 2,852,157円 ・その他下水道施設修繕 40,617,016円 ・維持補修工事 420,000円 ・人孔蓋 5,396,370円 下水道施設の点検、調査等の結果をもとに、異常箇所を速やかに維持補修し、施設機能の確保、延命化に努めている。	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

	指標名	指標式	指標設定の意図	15,16年度は目標値 指標の推移(年度)				
成果指標	施設補修率	補修箇所数/補修必要箇所数	施設補修率の増減により施設維持の健全性を見る。	1 2	1 3	1 4	1 5	1 6
				86	60	254	100	100
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決 算	決 算	決 算	予 算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	116,556	185,959	92,838	82,380	82,380
	人員・時間数	4人	4人	4人	4人	4人
	人件費	33,560	33,560	33,560	33,560	33,560
	その他経費					
	合 計	150,116	219,519	126,398	115,940	115,940
特定財源						
対象数						
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	C：達成していない		・事業目標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
		説明	下水道施設の定期点検等の結果により、予防的な維持補修を行い、施設機能の確保及び延命化が図れた。						
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている						
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している						
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない						
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 下水道の施設の欠陥は、市民生活に支障をきたすと共に、二次災害発生原因となる場合があるため早急に補修、改築の措置を施す必要がある。						
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である						
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている						
	C：有効ではない		説明 適切な維持補修を行うことで、施設機能の確保及び延命化が図れる。						
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている						
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている						
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている						
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 施設の現状機能を回復させる維持補修を行うことにより、下水道施設(耐用年数)の延命を図ることができ、経費の節減につながる。						
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である						
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である						
	C：公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)						
		説明	適切な維持補修を行うことで、施設機能の確保が図れる。						
成果向上の余地			事業費削減のために取り得る手段と削減額						
<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明： 各施設毎にその機能維持を図るため、定期的な保守点検を行うことにより、施設の延命化が図れる。		手段	整備区域の拡大に伴い、管理施設が増加する中で経費も必然的に増加せざるを得ない状況である。					
			削減額	千円					

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	下水道施設を定期的に、計画的に点検調査を行い、異常個所については速やかに対処する。さらに、適正な維持補修をすることで、施設の機能が確保され、延命化が図れる。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--